〇概ね5年で実施する取組(実施済を含む)多摩川上流部

資料1-1

■:該当なし

実施する機関 具体的な取組の柱 域 主な内容 課題 目標時期 項 住 東 Ш 梅市 鳥 野 牛 摩市 村 京都 象庁 野市 地 民 市 具体的取組 市 整 ド対策の主な取組 ■洪水を河川内で安全に流す対策 堤防整備等 河岸侵食防止のための水衝部対 引き続き 実施 ■危機管理型ハード対策 決壊までの時間を少しでも引き延ば すよう堤防構造を工夫する対策とし ○堤防天端の保護 ・法 信部(堤防斜面 上側の角)の崩 引き続き 実施 Т 壊の進行を遅らせるための堤防天端のアスファルト等での保護・深掘れの進行を遅らせるための裏 〇堤防裏法尻の補強 法尻のブロック等での補強 ■円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備 引き続き ○河川防災ステーションの整備 ・河川防災ステーション等の整備 \blacksquare ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ・防災行政無線の改良、防災ラジオ 等の配布、防災行政無線テレフォン サービスの導入、デジタル化、難聴 ①防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布、防災無線テレフォンサービス 引き続き G, I 実施 用 地区の解消等 ・浸水時においても災害対応を継続 するための施設の整備、自家発電 装置等の耐水化及び上層階への設 ②浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装 Q 実施済み 置等の耐水化 水防活動を支援するための新素 ③水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材等の配 材・新技術等を含めた水防資機材等 引き続き 実施 0, P 0 0 0 0 0 Δ 大規模水害に備えた水防資機材の ④水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、CCTV ・水防団の円滑な水防活動を支援す 引き続き るための簡易水位計や量水標、 カメラ等の設置 CCTVカメラ等の設置 ソフト対策の主な取組(I)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ■情報伝達、避難計画等に関する取組 :洪水予報等の情報発信(洪水予報 ①住民の避難行動、迅速な水防活動 等)の実施 引き続き 活 を支援するための水位計やライブカメ ラのリアルタイムの情報提供 G. I Δ ・水位計の情報やライブカメラの映 用 像をリアルタイムで提供 ・チェックリストを活用しタイムライン ②避難勧告の発令に着目したタイムラ 引き続き を作成
・タイムラインを検証し見直しを実施 C. D. J. I Δ インの作成 実施 ・ロールプレイング等の実践的な訓 ③タイムラインに基づく首長・地域住民 引き続き C. D. J. I \cap 0 \cap 0 0 \circ \circ 等も参加した実践的な訓練の実施 'nп ルマスル 地域住民を含めた訓練への拡充 ・避難勧告等発令の対象区域、判断 引き続き ④タイムラインの高度運用の検討 0 Δ 0 0 0 0 Δ ・多機関連携型タイムラインの拡充 ・ハザードマップポータルサイトにお ⑤ハザードマップポータルサイトにおけ 引き続き ける水害リスク情報の充実(洪水、 る水害リスク情報の充実 用 土砂災害、津波等) ・想定最大規模降雨による洪水を対 象とした洪水ハザードマップの策定 ⑥想定最大規模降雨による洪水ハ 引き続き ードマップの策定、周知、活用 用 ・想定最大規模降雨に伴う洪水によ る浸水により、市町内避難所数が不 足する場合や避難が市町内避難所 より他市町の方が適切と思われる場 ⑦近隣市と連携した広域避難計画及 び崖線下の住人の段丘上への避難計 引き続き 実施 0 0 0 0 0 Δ D. E. F Δ 0 画の作成 合等において、広域避難計画(案)を ⑧ダム放流情報を活用した避難体系の確立 引き続き 実施 ・ダム放流情報を活用した避難体系 U, V 0 0 0 0 0 0 0 の確立 用 引き続き 実施 活用 ⑨応急的な避難場所の確保 ・応急的な退避場所の確保 D 0 0 • 0 0 0 • • • • 0 ⑩要配慮者・外国人等への対応等を考慮した避難計画の検討作成および避 ・想定最大規模降雨に伴う洪水によ 活 D, F, H, 引き続き る要配慮者利用施設への対応等を 0 0 0 0 0 Δ 考慮した避難計画の作成 ・住民一人一人の避難計画・情報 マップの作成促進 引き続き 実施 ⑪マイ・タイムラインの取組推進 C, D 0 0 加 講習会の実施 12平時から水防災意識の向上を図る ため、案内板等の整備や電柱等に想 定浸水深などを標識として表示する「ま るごとまちごとハザードマップ」の検討 引き続き 公共施設や電柱を中心に、看板の 0 0 0 A. D. F ▲ 用 設置を検討

○:実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み -:予定無し

〇概ね5年で実施する取組(実施済を含む)多摩川上流部

資料1-1

■:該当なし

実施する機関 具体的な取組の柱 域 項 主な内容 課題 目標時期 住 Ш 梅市 島 野市 摩市 村 京都 象庁 野市 地 民 具体的取組 市 整 ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ■情報伝達、避難計画等に関する取組 ・協議会等の場を活用して、 避難時 の声かけや避難誘導等訓練及び出水時における実際の事例の情報を 共有し、より充実した取組を検討・調 来有し、よりの人の一を 整。 ・引き続き、協議会毎に地域包括支援センター・ケアマジャーと連携した 水害からの高齢者の避難行動の理 解促進に向けた取組の実施および 引き続き 13共助の仕組みの強化 • Δ 0 0 Δ 0 その状況を共有。 ·不動産関連事業者に対し、引き続き、研修会等で水害リスク情報等に 引き続き 0 (4)滴切な土地利用の促進 0 Δ 係る施策の最新情報を説明。 ・警報等における危険度の色分け表 引き続き 実施 ⑤気象情報発信時の「危険度の色分 、 「警報級の現象になる可能性」の情 け」や「警報級の可能性の提供」を実施 ・メッシュ情報の充実化 対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ■防災教育や防災知識の普及 ・ハザードマップの見方などの水災 害の事前準備に関する問い合わせ ①水災害の事前準備に関する問い合 引き続き A. B わせ窓口の設置 用 窓口の設置 ②水防災意識社会の再構築のための 水防災意識社会の再構築のため 引き続き А. В 0 0 0 0 0 • 説明会・講習会の開催 の説明会・講習会を開催 加 ・授業を実施する前に担当教員にも 引き続き 水災害の知識を身につけていただく ための講習会を実施 ③教員を対象とした講習会の実施 A B 0 0 0 0 0 0 0 ④小学生を対象とした水防災教育の実 ・小学校の総合学習授業の中で、水 引き続き 実施 ΔR Δ 防災教育の取組の実施 加 ・出前講座等の要望があれば積極 引き続き 実施 ⑤出前講座等の講習会の実施 А, В 加 市町村の取り組みを支援する専門 ⑥地域防災力の向上のための人材育 家リストを作成 ・専門家の派遣 実施 対策の主な取組 (2)洪水氾濫被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組 無線やメールなどを活用した情報 ①消防団と兼任する水防団への連絡 体制の確認と伝達訓練の実施 引き続き 実施 伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施 ②消防団と兼任する水防団同士の連 引き続き ・近隣の水防団の連絡体制の確保 絡体制の確保 ③消防団と兼任する水防団や地域住 民が参加する重要水防箇所等の共同 点検 引き続き 実施 水防団や地域住民が参加する重 ④関係機関が連携した水防訓練の実 合同水防訓練や水防管理団体が 引き続き Ν 0 行う訓練への参加 実施 hп 引き続き 実施 ⑤水防活動の担い手となる水防団体 ・広報紙やホームページ等で広く募 N ⑥重要施設(市町村庁舎・災害拠点病院・危険物取扱工場等)管理者への情 市町村庁舎や災害拠点病院等の 0 0 0 0 Δ 0 施設関係者への情報伝達の充実 ・早期復興を支援する事前の準備 報伝達の充実 ト対策の主な取組 (3)一刻も早い生活 再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 ■排水活動及び施設運用の強化に関する取組 ・排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規 模水害を想定した排水計画(案)を ①排水機場・樋門・水門等の情報共 引き続き 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成 0 0 0 0 0 Δ 実施 引き続き 実施 ②排水訓練の実施 排水訓練の実施 R 0 0 0 0 0 0 ・洪水浸水想定区域内(隣接・近接 する区域を含み、河川区域を含まない)で、浸水の拡大を抑制する効用 があると認められる輪中堤等の盛土 ③浸水被害軽減地区の指定 Δ D 構造物、自然堤防等を指定

○:実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み -:予定無し

〇概ね5年で実施する取組(実施)	済を含む) 多摩川下流部左岸 ○:実施予定	△:実施中(50%未済	為:実施中(50%以上)	●:実施済み 一:予定無し	資料 . ■:該当なし・対	
具体的な取組の柱				実施する機関		地

体的な取組の柱	O∶実施 ⁻ 	予定 △:実	《施中(50%未 	満) ▲	:実施□	<u> </u>			<u>・済み</u> る機関		E無し	■:該当	なし・女	象なし地
事項	主な内容	課題	目標時期	大田	世田	府中	調	国	狛	品	東	気	関東	域住
具体的取組				田凶	谷区	市	市市	立市	市	区区	京都	象庁	地 整	民
ハード対策の主な取組 ■洪水を河川内で安全に流す対策														
〇必要堤防高、幅が不足する箇所の 整備	・堤防整備等 ・河岸侵食防止のための水衝部対 策	U	引き続き 実施										Δ	
■危機管理型ハード対策		 				 								
〇堤防天端の保護 〇堤防裏法尻の補強	決壊までの時間を少しでも引き延ば すよう堤防構造を工夫する対策とし て、 ・・法肩部(堤防斜面上側の角)の崩 域の進行を遅らせるための堤防天 端のアスファルト等での保護 ・・深振れの進行を遅らせるための裏 法尻のブロック等での補強	V	引き続き 実施										•	
■円滑かつ迅速な避難に資する施設等	の整備					1			1					
〇河川防災ステーションの整備	・河川防災ステーション等の整備	а	引き続き 実施										•	
■避難行動、水防活動、排水活動に資		ı					1	1				1		
①防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布、防災無線テレフォンサービスの導入	・防災行政無線の改良、防災ラジオ 等の配布、防災行政無線テレフォン サービスの導入、デジタル化、難聴 地区の解消等	G, I	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•				活用
②浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備、自家発電装置等の耐水化及び上層階への設置	R	実施済み	•	•				•					
③水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材の配備	・水防活動を支援するための新素 材・新技術等を含めた水防資機材等 の配備 ・大規模水害に備えた水防資機材の 拡充	P, Q	引き続き 実施	•	•	0	0	Δ	•	•	•		•	
④消防団と兼任する水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・消防団と兼任する水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	М	引き続き 実施				•		•				•	
aTや軍水様、CCTVガクラ等の改画 置														
①住民の避難行動、迅速な水防活動を支援するための水位計やライブカメラのリアルタイムの情報提供	・洪水予報等の情報発信(洪水予報等)の実施 ・水位計の情報やライブカメラの映像をリアルタイムで提供	G, H	引き続き 実施		•		•		•		Δ		•	活用
②避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・チェックリストを活用しタイムライン を作成 ・タイムラインを検証し見直しを実施	C, D, J, L	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•		•	•	
③タイムラインに基づく首長・地域住民 等も参加した実践的な訓練の実施	・ロールプレイング等の実践的な訓練を実施・地域住民を含めた訓練への拡充・避難勧告等発令の対象区域、判断	C, D, J, L	引き続き 実施	Δ	•	•	•	•	•	Δ		•	•	参加
④タイムラインの高度運用の検討	・ 歴報制音等発売の対象と域、判断 基準等の確認(水害対応タイムライン) ・ 多機関連携型タイムラインの拡充	C, D, J, L	引き続き 実施	Δ	0	•	•	•	•	0	•	•	•	
⑤ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	・ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実(洪水、土砂災害、津波等)	А	引き続き 実施										•	活用
⑥想定最大規模降雨による洪水ハ ザードマップの改良、周知、活用	・想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定	А	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•				活用
⑦近隣市区と連携した広域避難計画 の作成及び都市部における垂直避難 の検討	・想定最大規模洪水による浸水により、市内避難所敷が不足する場合や 避難が市内避難所より他市の方が 適切と思われる場合等において、広 域避難計画(案)を作成または都市 部における垂直避難の検討	D, E	引き続き 実施	Δ		0							0	活用
⑧ダム放流情報を活用した避難体系 の確立	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	W, X	引き続き 実施	Δ	•	Δ	0	Δ	Δ		•		•	活用
9応急的な退避場所の確保	・応急的な退避場所の確保	D	引き続き 実施	•	Δ	•	•	•	•	•	•		0	活用
⑩要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成および避難訓練の実施	・想定最大規模降雨に伴う洪水による要配慮者利用施設への対応等を 考慮した避難計画の作成	D, E, I, K	引き続き 実施	Δ	•	•	•	•	•	•				活用
①マイ・タイムラインの取組推進	・住民一人一人の避難計画・情報 マップの作成促進 ・講習会の実施	C, D	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•			•	参加
②平時から水防災意識の向上を図る ため、案内板等の整備や電柱等に想 定浸水深などを標識として表示する「ま るごとまちごとハザードマップ」の検討	・既設案内板の利活用を検討・公共施設や電柱を中心に、看板の 設置を検討	A, D, F	引き続き 実施	Δ	•	•	•	Δ	•	Δ				活用

0	概	ね5年で実施する取組(実施	済を含む) 多摩川下流部左 ○:実施:		E施中(50%未	満)▲	:実施中	卢(50%	以上)	●:実施	施済み	一:予定	€無し	■∶該当		1-1 象なし
具	体的	りな取組の柱								実施す	る機関	l				地
		事 項	主な内容	課題	目標時期	大田	世田公	府中	調布	国立	狛江	品川	東京	気象	関東	域住
		具体的取組				区	谷区	市	市	市	市	区	都	庁	地整	民
2)		<mark>가対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロ</mark> 情報伝達、避難計画等に関する取組	に向けた迅速かつ的確な避難行動	のための取	文組	•										
		③共助の仕組みの強化	・協議会等の場を活用して、避難時 の声かけや避難誘導等訓練及び出 水時における実際の事例の情報を 共有し、より充実した取組を検討・調整。 ・引き続き、協議会毎に地域包括支 接センター・ケアマジャーと連携した 水害からの高齢者の避難行動の理 解促進に向けた取組の実施および その状況を共有。	z	引き続き 実施	Δ	•	•	0	0	•	•				
		(4)適切な土地利用の促進	・不動産関連事業者に対し、引き続き、研修会等で水害リスク情報等に 係る施策の最新情報を説明。	Y	引き続き 実施	0	Δ	•	•	•	•	•	•		•	
		⑤気象情報発信時の「危険度の色分 け」や「警報級の可能性の提供」を実施	・警報等における危険度の色分け表示・「警報級の現象になる可能性」の情報提供・メッシュ情報の充実化	В, Н	引き続き 実施									•		活用
2)		<mark>小対策の主な取組(1)逃げ遅れゼロ</mark> 防災教育や防災知識の普及	に向けた迅速かつ的確な避難行動	のための取	又組											
		①水災害の事前準備に関する問い合 わせ窓口の設置	・ハザードマップの見方などの水災 害の事前準備に関する問い合わせ 窓口の設置	А, В	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•		•	•	活用
		②水防災意識社会の再構築のための 説明会・講習会の開催	・水防災意識社会の再構築のため の説明会・講習会の開催	А, В	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•		•	•	参 加
		③教員を対象とした講習会の実施	・授業を実施する前に担当教員にも 水災害の知識を身につけていただく ための講習会を実施	А, В	引き続き 実施	0	Δ	0	0	0	0	0		•	•	参加
		④小学生を対象とした水防災教育の実施	・小学校の総合学習授業の中で、水 防災教育の取組の実施	А, В	引き続き 順次実施	•	Δ	0	0	•	•	0	•	•	•	参 加
		⑤出前講座等の講習会の実施	・出前講座等の要望があれば積極 的に参加し、防災知識の普及啓発 活動等の支援を実施	А, В	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	参 加
		⑥地域防災力の向上のための人材育 成	・市町村の取り組みを支援する専門家リストを作成 ・専門家の派遣	А, В	引き続き 実施										•	
(2)		<mark>7ト対策の主な取組(2)洪水氾濫被害</mark> 水防活動の効率化及び水防体制の強		冰防沽期(り取組											
		①消防団と兼任する水防団等への連 絡体制の確認と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報 伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	М	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•				
		②消防団と兼任する水防団同士の連 絡体制の確保	・近隣の水防団の連絡体制の確保	М	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•				
		③消防団と兼任する水防団や地域住 民が参加する重要水防箇所等の共同 点検	・水防団や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検	М, О	引き続き 実施	•	•	•	•		•		•	•	•	参加
		④関係機関が連携した水防訓練の実 施	・合同水防訓練や水防管理団体が 行う訓練への参加	N, O	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	
		⑤水防活動の担い手となる水防団等 の募集の促進	・広報紙やホームページ等で広く募集	N	引き続き 実施	•	•	•	•			•				
		⑥重要施設(市町村庁舎・災害拠点病院・危険物取扱工場等)管理者への情報伝達の充実	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実・早期復興を支援する事前の準備	R	引き続き実施	Δ	A	•	•	•	•	•			•	
2)		<u> </u>		可能とする	にめの排水	古野の	以組									
		①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成	・排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規 模水害を想定した排水計画(案)を 作成	S, T	引き続き 実施	Δ	•	•	0	0	•		•		•	
		②排水訓練の実施	・排水訓練の実施	S, T	引き続き 実施	•	•		•	0	•				•	
		③浸水被害軽減地区の指定	・洪水浸水想定区域内(隣接・近接 する区域を含み、河川区域を含まな い)で、浸水の拡大を抑制する効用 があると認められる輪中堤等の盛土 構造物、自然堤防等を指定	D	引き続き 実施	-	-	-	-	-	-	-			Δ	

○機ね5年で実施する取組(実施済を含む) 多摩川下流部右岸・鶴見川 ○:実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み -:予定無し ■:該当なし・対象なし

具作	本的	な取組の柱	〇:実施予	プル △:夫/	施中(50%未	神) ▲	: 夫他	+ (30%		実施す			上無し	■ : iX =	なし*X:	
	Г	事 項	主な内容	課題	目標時期	稲城	横浜	横浜工	横浜工	横浜	川崎	東京和	神奈川	気象	関東地	地域住民
		具体的取組				市	市	市區	市區	市区	市	都	県	庁	整	14,
		-ド対策の主な取組 共水を河川内で安全に流す対策														
		○必要堤防高、幅が不足する箇所の整備	・堤防整備等 ・河岸侵食防止のための水衝部対策	V	引き続き 実施										A	
	■f	き機管理型ハード対策														
		○堤防天端の保護 ○堤防裏法尻の補強	決壊までの時間を少しでも引き延ばす よう堤防構造を工夫する対策として、 :法肩部(堤防斜面上側の角)の崩壊 の進行を遅らせるための堤防天端のア スファルト等での保護 ・深掘れの進行を遅らせるための裏法 尻のブロック等での補強	w	引き続き 実施										•	
	■ P	円滑かつ迅速な避難に資する施設等	の整備	I	I							1		1		
		○河川防災ステーションの整備	・河川防災ステーション等の整備	b	引き続き 実施										•	
	■i	壁難行動、水防活動、排水活動に資														
		①防災行政無線の改良、防災ラジオ等 の配布等	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布、防災行政無線テレフォンサービスの導入、デジタル化、難聴地区の解消等	G, I	引き続き 実施	•	•	•	•	0	•					活用
		②浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備、自家発電装置等の耐水化及び上層階への設置	s	引き続き 実施		•	•	•		Δ					
		③水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材等の配 備	・水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材等の配 備 ・大規模水害に備えた水防資機材の拡 充	Q, R	引き続き 実施	•	•	•	0	0	•	•	•		•	
		④水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・水防団の円滑な水防活動を支援する ための簡易水位計や量水標、CCTVカ メラ等の設置	N	引き続き 実施										•	
		ト対策の主な取組(1)逃げ遅れゼロ 青報伝達、避難計画等に関する取組	に向けた迅速かつ的確な避難行動の	ための取組	i											
		①住民の避難行動、迅速な水防活動を 支援するための水位計やライブカメラ のリアルタイムの情報提供	・洪水予報等の情報発信(洪水予報等)の実施 ・水位計の情報やライブカメラの映像を リアルタイムで提供	G, I	引き続き 実施						•	Δ			•	活用
		②避難勧告の発令に着目したタイムラ インの作成	・チェックリストを活用しタイムラインを 作成・タイムラインを検証し見直しを実施	C, D, J, N	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•			•	•	
		③タイムラインに基づく首長・地域住民 等も参加した実践的な訓練の実施	・ロールプレイング等の実践的な訓練を 実施 ・地域住民を含めた訓練への拡充	C, D, J, N	引き続き 実施	0	0	•	•	•	0			•	•	参加
		④タイムラインの高度運用の検討	・避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認(水害対応タイムライン) ・多機関連携型タイムラインの拡充	C, D, J, N	引き続き 実施	0	0	•	•	0	0	•	•	Δ	•	
		⑤ハザードマップポータルサイトにおけ る水害リスク情報の充実	・ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実(洪水、土砂 災害、津波等)	А	引き続き 実施										•	活用
		⑥想定最大規模降雨による洪水ハ ザードマップの改良、周知、活用	・想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定	А	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•					活用
		⑦近隣市区と連携した広域避難計画の 作成及び垂直避難や地下街の検討	・想定最大規模洙水による浸水により、 市内避難所数が不足する場合や避難 が市内避難所より他市の方が適切と思 われる場合等において、広域避難計画 (案)を作成または検討 ・垂直避難や地下街の検討	D, E	引き続き 実施	Δ	0	Δ	0	0	0				0	活用
		⑧ダム放流情報を活用した避難体系の 確立	・ダム放流情報を活用した避難体系の 確立	X,Y	引き続き 実施	•			-	-	0	•	•		•	活用
		⑨応急的な退避場所の確保	・応急的な退避場所の確保	D	引き続き 実施	•	0	•	•	•	•	•			0	活 用
		⑩要配慮者・外国人等への対応等を考慮した避難計画の検討および避難訓練 の実施		D, E, H, I , M	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•					活用
		⑪マイ・タイムラインの取組推進	・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進 ・講習会の実施	C, D	引き続き 実施	0	•	•	•	•	•		•		•	参加
		①平時から水防災意識の向上を図るため、案内板等の整備や電柱等に想定浸水深などを標識として表示する「まるごとまちごといザードマップ」の検討	・公共施設や電柱を中心に、看板の設	A, D, F, K	引き続き 実施	•	0	•	0	-	•					活用

○概ね5年で実施する取組(実施済を含む) 多摩川下流部右岸・鶴見川 資料1-1 ○:実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み -:予定無し ■:該当なし・対象なし

具	具体的な取組の柱									実施す	る機関					地
		事 項	主な内容	課題	目標時期	稲城	横浜	横鶴	横港北京	横都筑	川崎	東京	神 奈 川	気象	関東地	域住民
- \		具体的取組				市	市	市区	市区	市区	市	都	県	庁	整	氏
2)		<mark>'ト対策の主な取組(1)逃げ遅れゼロ</mark> 情報伝達、避難計画等に関する取組	に同けた迅速かつ的確な避難行動の 	ための取組	l											
		③共助の仕組みの強化	・協議会等の場を活用して、避難時の 声かけや避難誘導等訓練及び出水時 における実際の事例の情報を共有し、 より充実した取組を検討・調整。 ・引き続き、協議会毎に地域包括支援 センター・ケアマジャーと連携した水害 からの高齢者の避難行動の理解促進 に向けた取組の実施およびその状況を 共有。	а	引き続き 実施	•	•	•	Δ	•	Δ					
		⑭適切な土地利用の促進	・不動産関連事業者に対し、引き続き、 研修会等で水害リスク情報等に係る施 策の最新情報を説明。	Z	引き続き 実施	0	-	-	•	-	•	•			•	
		⑤気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の可能性の提供」を実施	・警報等における危険度の色分け表示・「警報級の現象になる可能性」の情報 提供 ・メッシュ情報の充実化	В, Н	引き続き 実施									•		活用
2)		<mark>'ト対策の主な取組(1)逃げ遅れゼロ</mark> 防災教育や防災知識の普及	に向けた迅速かつ的確な避難行動の	ための取組	1											
		①水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・ハザードマップの見方などの水災害 の事前準備に関する問い合わせ窓口 の設置	А, В	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•			•	•	活用
		②水防災意識社会の再構築のための 説明会・講習会の開催	・水防災意識社会の再構築のための説 明会・講習会の開催	А, В	引き続き 実施	•	区 に お て 実施	•	•	•	•		•	•	•	参加
		③教員を対象とした講習会の実施	・授業を実施する前に担当教員にも水 災害の知識を身につけていただくため の講習会を実施	А, В	引き続き 実施	•	区に お て 実施	•	•	•	•		•	•	•	参 加
		④小学生を対象とした水防災教育の実施	・小学校の総合学習授業の中で、水防 災教育の取組の実施	А, В	引き続き 実施	•	区 お て 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	参 加
		⑤出前講座等の講習会の実施	・出前講座等の要望があれば積極的に 参加し、防災知識の普及啓発活動等の 支援を実施	А, В	引き続き 実施	•	区に お て 生施	•	•	•	•	•	•	•	•	参 加
a)		⑥地域防災力の向上のための人材育 成	・市町村の取り組みを支援する専門家リストを作成 ・専門家の派遣	A, B	引き続き 実施		•	0	0	0	0				•	
2)		<mark>'ト対策の主な取組(2)洪水氾濫被害</mark> 水防活動の効率化及び水防体制の強		《防活動の耶	又組											
		①消防団と兼任する水防団への連絡 体制の再確認と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	N	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•					
		②消防団と兼任する水防団同士の連 絡体制の確保	・近隣の水防団の連絡体制の確保	N	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•					
		③消防団と兼任する水防団や地域住 民が参加する重要水防箇所等の共同 点検	・水防団や地域住民が参加する重要水 防箇所等の共同点検	N	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	参 加
		④関係機関が連携した水防訓練の実 施	・合同水防訓練や水防管理団体が行う 訓練への参加	O, P	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	参 加
		⑤水防活動の担い手となる水防団等 の募集の促進	・広報紙やホームページ等で広く募集	0	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•					参 加
		⑥重要施設(市町村庁舎・災害拠点病院・危険物取扱工場等)管理者への情報伝達の充実	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実・早期復興を支援する事前の準備	S	引き続き 実施	•	A	0	-	-	0				•	
2)		ト対策の主な取組 (3)一刻も早い生 排水活動及び施設運用の強化に関す		「能とするた	めの排水活	動の取	組									
		①排水機場・樋門・水門等の情報共	・排水機場・樋門・水門等の情報共有、 排水手法等の検討を行い、大規模水 害を想定した排水計画(案)を作成	T, U	引き続き 実施	0	0	0	0	0	Δ	•	•		•	
		②排水訓練の実施	・排水訓練の実施	T, U	引き続き 実施	0	0	0	0	0	•				•	
		③浸水被害軽減地区の指定	・洪水浸水想定区域内(隣接・近接する 区域を含み、河川区域を含まない)で、 浸水の拡大を抑制する効用があると認 められる輪中堤等の盛土構造物、自然 堤防等を指定	D	引き続き 実施				-	_	-				Δ	

的な取組の柱							実施す	「る機関	目			1
事項	主な内容	課題	 目標時期	平	藤	茅	寒	大	神	気	関	
具体的取組				塚市	沢市	市ゲ崎	町	磯町	県奈川	象庁	整東地	
ード対策の主な取組												_
洪水を河川内で安全に流す対策	2. 東州吐京 - 恒パスロナ7. 英子の	ı	312422									T
○必要堤防高、幅が不足する箇所の 整備	・必要堤防高、幅が不足する箇所の 整備	Q	引き続き 実施								A	
危機管理型ハード対策			<u> </u>									T
〇堤防天端の保護	決壊までの時間を少しでも引き延ば すよう堤防構造を工夫する対策とし て、法肩部(堤防斜面上側の角)の 崩壊の進行を遅らせるための堤防 天端のアスファルト等での保護	R	引き続き 実施								•	
円滑かつ迅速な避難に資する施設等	の整備		I									_
〇河川防災ステーションの整備	・河川防災ステーション等の整備	w	引き続き 実施								0	
」 避難行動、水防活動、排水活動に資	 する基盤等の整備											+
①防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布、防災無線テレフォンサービス等の導入	・防災行政無線の改良、防災ラジオ 等の配布、防災行政無線テレフォン サービスの導入、デジタル化、難聴 地区の解消等	F, J	引き続き 実施	•	•	•	•	•				
②浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続 するための施設の整備、自家発電 装置等の耐水化及び上層階への設 置	N	実施済み	•		•	•					
③水防活動を支援するための新素材・ 新技術等を含めた水防資機材の配備	・水防活動を支援するための新素材・新技術等を含めた水防資機材等の配備・大規模水害に備えた水防資機材の拡充	М	引き続き 実施	•	•	•	•	0	•		•	
④水防団(消防団)の円滑な水防活動を 支援するための簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	・水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	J	引き続き 実施								•	
<mark>フト対策の主な取組(1)逃げ遅れゼロ</mark> 情報伝達、避難計画等に関する取組		動のための	り取組									
①住民の避難行動、迅速な水防活動を 支援するための水位計やライブカメラ のリアルタイムの情報提供	・洪水予報等の情報発信(洪水予報等)の実施 ・水位計の情報やライブカメラの映像をリアルタイムで提供	F, G	引き続き 実施								•	
②避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・チェックリストを活用しタイムラインを作成・タイムラインを検証し見直しを実施	C, D	引き続き 実施	•	•	•	•	•		•	•	
③タイムラインに基づく首長・地域住民 等も参加した実践的な訓練の実施	・ロールプレイング等の実践的な訓練を実施・地域住民を含めた訓練への拡充	C, D	引き続き 実施	•	•	•	0	•		•	•	
④タイムラインの高度運用の検討	・避難勧告等発令の対象区域、判断 基準等の確認(水害対応タイムライン) ・多機関連携型タイムラインの拡充	C, D	引き続き 実施	•	0	0	0	0	•	Δ	•	
⑤ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	・ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実(洪水、土砂災害、津波等)	А	引き続き 実施								•	
⑥想定最大規模降雨による洪水ハ ザードマップの改良、周知、活用	・想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定	А	引き続き 実施	•	•	•	•	•				
⑦近隣市町と連携した広域避難計画の作成	・想定最大規模降雨に伴う洪水による浸水により、市町内避難所数が不足する場合や避難が市町内避難所より他市町の方が適切と思われる場合等において、広域避難計画(案)を作成	D	引き続き 実施	0	0	•	0	•			0	
®ダム放流情報を活用した避難体系 の確立	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	S,T	引き続き 実施	•	0	0	0	0	•		^	1
③応急的な退避場所の確保	・応急的な退避場所の確保	D	引き続き 実施	•	0	0	•	0			0	
⑩要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成および避難訓練の実施	・想定最大規模降雨に伴う洪水による要配慮者利用施設への対応等を 考慮した避難計画の作成	D, H, I	引き続き 実施	•	Δ	•	0	Δ				
⑪マイ・タイムラインの取組推進	・住民一人一人の避難計画・情報 マップの作成促進 ・講習会の実施	C, D	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•		•	

С	〇概ね5年で実施する取組(実施済を含む) 相模川○:実施予定 △:実施中(50%未満) ▲:実施中(50%以上) ●:実施済み 一:予定無し ■:該当なし・対象なし													
	<u> </u>	6 do 150 (47 o 12)	〇:実施予定 △:実施中	中(50%未)	満〉 ▲ : 実施中 	Þ (50%. I	以上)					■:該当	なし・対	「象なし
具	1本日 	かな取組の柱				77	林	茅		る機関		_	88	地 域
		事 項 「 <i>.</i>	主な内容	課題	目標時期 	平塚	藤沢	市ヶ	寒川	大磯	神県奈	気象	整東	住民
0)	<u></u>	具体的取組		10+ H	D Ho 40	市	市	崎	町	町	Ш	庁	地	
(2)		<u>アト対策の主な取組(1)逃げ遅れゼロ</u> 情報伝達、避難計画等に関する取組		JJ0772870	ク収組									
		③共助の仕組みの強化	・協議会等の場を活用して、避難時の声かけや避難誘導等訓練及び出水時における実際の事例の情報を共有し、より充実した取組を検討・調整。・引き続き、協議会毎に地域包括支援センター・ケアマジャーと連携の理解に進に向けた取組の実施およびその状況を共有。	٧	引き続き 実施	Δ	•	Δ	0	0				
		 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・不動産関連事業者に対し、引き続き、研修会等で水害リスク情報等に 係る施策の最新情報を説明。	U	引き続き 実施	•	-	•	•	-			•	
		⑤気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の可能性の提供」を実施	・警報等における危険度の色分け表示・「警報級の現象になる可能性」の情報提供・メッシュ情報の充実化	B, G	引き続き 実施							•		活用
2)		<mark>'ト対策の主な取組(1)逃げ遅れゼロ</mark> 防災教育や防災知識の普及	に向けた迅速かつ的確な避難行動	かのための	り取組									
		①水災害の事前準備に関する問い合 わせ窓口の設置	・ハザードマップの見方などの水災 害の事前準備に関する問い合わせ 窓口の設置	А, В	引き続き 実施	•	•	•	•	•		•	•	活用
		②水防災意識社会の再構築のための 説明会・講習会の開催	・水防災意識社会の再構築のための説明会・講習会の開催	А, В	引き続き 実施	•	0	•	•	0	•	•	•	参加
		③教員を対象とした講習会の実施	・授業を実施する前に担当教員にも 水災害の知識を身につけていただく ための講習会を実施	А, В	引き続き 実施	•	•	Δ	0	•	•	•	•	参加
		④小学生を対象とした水防災教育の実施	・小学校の総合学習授業の中で、水防災教育の取組の実施	А, В	引き続き 実施	•	0	Δ	•	0	•	•	•	参加
		⑤出前講座等の講習会の実施	・出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及啓発活動等の支援を実施	А, В	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	参加
		⑥地域防災力の向上のための人材育 成	・市町村の取り組みを支援する専門 家リストを作成 ・専門家の派遣	А, В	引き続き 実施								•	
2)		<mark>小対策の主な取組(2)氾濫被害の</mark> 軽 水防活動の効率化及び水防体制の3		方活動の	取組									
		①水防団(消防団)への連絡体制の確認と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報 伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	I, J	引き続き 実施	•	•	•	•	•				
		②水防団(消防団)同士の連絡体制の確保	・近隣の水防団(消防団)の連絡体制 の確保	I, J	引き続き 実施	•	•	•	•	•				
		③水防団(消防団)や地域住民が参加 する重要水防箇所等の共同点検	・水防団(消防団)等や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検	J, L	引き続き 実施	•		•	•		•	•	•	参 加
		④関係機関が連携した水防訓練の実	・合同水防訓練や水防管理団体が 行う訓練への参加	I, K, L	引き続き 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	参 加
		⑤水防活動の担い手となる水防団(消 防団)の募集の促進	・広報紙やホームページ等で広く募集	К	引き続き 実施	•	•	•	•	•				参 加
		⑥重要施設(市町村庁舎・災害拠点病院・危険物取扱工場等)管理者への情報伝達の充実	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実・早期復興を支援する事前の準備	N	引き続き 実施	0	•	0	-	0			•	
2)		- パト対策の主な取組 (3)一刻も早い生 排水活動及び施設運用の強化に関す		を可能とす	するための排	水活動	の取組	i						
		(計水) (計水) (計水) (計水) (計水) (計水) (計水) (計水)	・排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規 模水害を想定した排水計画(案)を 作成	0, P	引き続き 実施	0	0	0	0	0	•		•	
		②排水訓練の実施	・排水訓練の実施	0, P	引き続き 実施	0	A	0	0	0			•	
		③浸水被害軽減地区の指定	・洪水浸水想定区域内(隣接・近接 する区域を含み、河川区域を含まない)で、浸水の拡大を抑制する効用 があると認められる輪中堤等の盛土 構造物、自然堤防等を指定	D	引き続き 実施	0	_	-	-	0			Δ	